

まちの姿 2

誰もが いきいきと健康に暮らし、 活躍できるまち

年齢、性別、障害の有無などに関わらず、誰もが自分らしく、いきいきと健康に暮らし、活躍できるまちをめざします。

施策

- ① 子育て中の家庭を支援します
- ② 高齢者が地域で安心して暮らせるよう支援します
- ③ 障害者が地域で安心して暮らせるよう支援します
- ④ 区民の健康づくりを支援します
- ⑤ 生涯にわたる学びや文化活動、スポーツを通じた生きがいづくりを支援します



東区ニコニコ子育て広場

親子で参加できる大規模な交流イベントを年2回開催しています。



ボッチャ体験会

ボッチャは障害の有無にかかわらず、老若男女、誰でも楽しむことができるスポーツとして近年注目されています。



福祉学習

福祉学習サポーターが小中学校や地域に出張し、体験や交流を通じて、高齢者や障害の理解を進めています。

① 子育て中の家庭を支援します

現状

- ・東区の0～5歳の子ども数は平成31年4月1日現在、3,838人となっています。
- ・区民アンケートの結果では、力を入れてほしい取組みとして、保育所の整備が41.0%、児童虐待の防止が39.8%と関心が高くなっています。
- ・子育て世代の意見では、子育てサロンの充実、子育て講座の開催を望む声が多くなっています。

課題

- ・子育ての不安を解消し孤立感を軽減するなど、子育て中の家庭の支援が必要です。

施策

子育て中の家庭を支援します

子育ての不安を解消するために必要な情報や、地域の中で子どもを育てていけるような場所の提供などを通じて子育て家庭を支援します。

成果指標

指 標	基準値	令和5年度目標
子育てしやすいまちだと思う区民の割合	78.1% (令和元年調査)	83%
児童虐待の通告先(児童相談所または区役所)を知っている区民の割合	74.9% (令和元年調査)	76%



オレンジリボンキャンペーン

5月、11月の児童虐待防止推進月間にキャンペーンを実施し、児童虐待防止の啓発を行っています。

虐待かもと思ったら、189番へ連絡を!

「不自然な傷やあざがある」「いつも服装や身体が不潔」といった子どもや、「地域の中で孤立している」保護者を見かけていませんか? 虐待の確証がなくても、小さなサインに気付いたらまずご連絡をお願いします。

児童相談所
虐待対応ダイヤル



お近くの児童相談所につながります。
(一部のIP電話からはつながりません。)

② 高齢者が地域で安心して暮らせるよう支援します

現状

- ・高齢化の進展に伴い、支援を必要とする高齢者は年々増加していくと見込まれています。
- ・高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるためには、日常生活上生じる課題について、身近なところで相談や支援できる体制が必要です。高齢者やそのご家族の身近な相談窓口として、東区いきいき支援センターがあります。
- ・区民アンケートでは、高齢者が地域で安心して暮らすために充実してほしいものとして、「認知症の人や家族に対する支援」と答えた方が、45.7%と最も多くなっています。また、「高齢者宅への訪問や見守り活動などの孤立防止の取組み」も40.5%と高い割合を示しています。

課題

- ・高齢者の社会的孤立を防ぐため、地域とのつながりが必要です。
- ・認知症への正しい理解、認知症の人や家族への温かい見守りと応援が必要です。

施策

高齢者が地域で安心して暮らせるよう支援します

関係機関や地域と連携し、高齢者が孤立せず、ともに支え合い、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します。

成果指標

指 標	基準値	令和5年度目標
困った時に相談できる人が隣近所や地域にいる高齢者の割合	59.3% (令和元年調査)	70%
高齢者や障害者などが外出する際、周りの人の理解や手助けがあると感じる区民の割合	51.2% (令和元年調査)	60%



ふれあい・いきいきサロン

地域住民の皆さまが身近な場所に集まって気軽に楽しくふれあいを深め交流する場です。地域の「お茶の間」「たまり場」とも言われ、どなたでも参加できます。

③ 障害者が地域で安心して暮らせるよう支援します

現状

- ・「障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会」の実現をめざし、東区障害者自立支援連絡協議会などと連携しながら障害者福祉の充実に取り組んでいます。
- ・区民アンケートでは、障害のある方が地域で安心して暮らすために充実してほしいものとして、「障害の理解、障害者への差別解消の取組み」が51.3%と最も多くなっています。
- ・東区では、障害への理解を深めるための普及啓発事業として、街頭啓発活動、授産製品の販売促進などに取り組んでいます。
- ・障害者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるためには、日常生活上生じる課題について、身近なところで相談や支援できる体制が必要です。障害者の福祉等に関する総合相談窓口として、東区障害者基幹相談支援センターがあります。同センターでは、相談以外にも、障害の理解に関する地域での出張講座や研修会などを実施しています。東区障害者基幹相談支援センターの認知度は16.5%です。

課題

- ・状況に応じた適切な配慮や支援を行うことができるよう、障害への理解を深めてもらうことが必要です。
- ・障害者に関する相談窓口を知ってもらうことが必要です。

施策

障害者が地域で安心して暮らせるよう支援します

障害への理解を深め、障害のある人もない人も人格と個性を尊重し合いながらともに生きるまちづくりに取り組みます。

成果指標

指 標	基準値	令和5年度目標
高齢者や障害者などが外出する際、周りの人の理解や手助けがあると感じる区民の割合（再掲）	51.2% (令和元年調査)	60%
東区障害者基幹相談支援センターの認知度	16.5% (令和元年調査)	25%

④ 区民の健康づくりを支援します

現状

- 健康で心豊かに生活できる社会をめざし、名古屋市が健康づくりについて策定した『健康なごやプラン21』では、いろいろな分野での目標や取組みを示しています。
- そのうち、「身体活動・運動」「栄養・食生活」「歯の健康」については、区民アンケートで次のような結果でした。運動やスポーツを週に1日以上実施している人は40.0%、主食・主菜・副菜の3つを組み合わせて1日2回以上ほぼ毎日食べている人は55.2%でした。また、1年間で歯科健康診査や口腔ケアを受けたことがある人は66.6%です。
- 上記のアンケートのうち「身体活動・運動」「栄養・食生活」については、目標値を下回った結果となっています。

課題

- 区民一人ひとりが健康への関心・意識を高め、良い生活習慣を身につけ、健康づくりに取り組むことが大切です。

施策

区民の健康づくりを支援します

健康教室などを開催するほか、健康に関する情報を発信するなど、区民の健康づくりを支援します。

成果指標

指 標	基準値	令和5年度目標
自身が健康だと感じている区民の割合	80.7% (令和元年調査)	82%
健康づくりに積極的に取り組んでいる区民の割合	74.3% (令和元年調査)	80%



東区健康のつどい

第一部は医師による講演会、第二部は健康づくりのための健康教室を行っています。講演の前には、健康・歯科・栄養の各相談コーナーを設けています。

⑤ 生涯にわたる学びや文化活動、 スポーツを通じた生きがいを支援します

現状

- ・スポーツ行事や文化行事は、区主催のものだけではなく、地域スポーツ団体や文化活動団体との共催によるものも多く開催されています。大会などは日頃の活動の成果を発表する場として一定のニーズがあります。
- ・区民が生きがいをもって健康にいきいきと暮らすために、生涯学習や文化活動、スポーツが役立ちますが、区民アンケートでは、団体、施設で行われる趣味の活動に「参加していない」人が62.2%を占めています。

課題

- ・区民が生きがいをもって健康にいきいきと暮らすための支援が必要です。

施策

生涯にわたる学びや文化活動、スポーツを通じた生きがいを支援します

地域団体や企業と協働してのスポーツイベントの開催や、区民の学びと文化活動の支援を通じて地域の連帯感や活力の向上を図り、区民の生きがいを支援します。

成果指標

指 標	基準値	令和5年度目標
生涯学習や文化活動、スポーツに取り組んでいる区民の割合	43.5% (令和元年調査)	65%



小学生バスケットボール教室

名古屋ダイヤモンドドルフィンズ、三菱電機コアラーズの選手たちが講師となって、教室を開催しています。



東区美術展

日本画・洋画・書など、さまざまな作品の発表の場として美術展を開催しています。